



雄武町 No.187 令和6年2月号

議会だより



意見交換会とアンケートを
行います！

(詳細は背表紙(16ページ)へ)



Contents

- ▶雄武産ホタテ支援事業紹介———— P2-3
- ▶行政報告等———— P4
- ▶一般質問(3名)———— P5-7
- ▶審議結果(12月定例会)———— P8-9
- ▶町の取り組み聞いてみました(チヨダ推進賞)- P10
- ▶意見書(小中学校・冷房設備の財源措置)—— P11
- ▶道内視察レポート(委員会報告)—— P12-13
- ▶採決結果・議会日誌・あとがき—— P14-15
- ▶動画紹介(武雄・益子)———— P16

雄武町議会がYouTubeで
見られるようになりました



落花生を狙うシマエナガ(幌内)

＼海の幸、いただきます！／

雄武産ホタテ

①ホタテ無料配布事業（11月臨時会）

予算 2483万7千円（専決処分）

日本人世帯	2,254世帯	宅配による個別配送
外国人世帯	259世帯	事業所に配送（実習生）
施設入所世帯	58世帯	給食として食材提供



ホタテカレー



ホタテの中華丼

雄愛園のホタテを使った
給食メニュー



Q 遠藤

ホタテ漁に対する今後の支援についてはどう考えているのか。

A 町長

今回のホタテの緊急措置については、急に中国の禁輸措置が起きて、町としても対応しなければならぬという思いの中で予算措置をしてきた。水産庁、国のほうもかなりレベルの高いところで中国の禁輸措置が解除されるように折衝している。町としても、これが来年度以降も続くと非常に大きな影響が起きることから、その辺を見据えながら考えていく。

本来であれば緊急措置であり、こういったことが長く続くということはあまり好ましくないと理解している。

町だけではなく管内全体の問題もあるので、その辺を見極めながら対策を講じてまいりたい。

Q 嶋村

配布するホタテはどこから購入したのか。

A 産業振興課長

全町への配布分となる4.6トンについては雄武漁業協同組合から購入した。今後行われる飲食店への配布や物販については雄武水産加工業協同組合から購入する予定。

A 町長

サイズが揃ったものを早急に世帯数分だけ用意しなければならなかったため、全町配布分については100%が雄武漁業協同組合から購入することとなった。今後の発注についてはバランス感をきちんと精査をしながら対応していきたい。

昨年から問題となっている日本産水産物の輸入停止を受け、国や道、市町村が様々な取り組みを行う一方、雄武町議会も意見書を国に提出するなど、水産業界の再生と地域経済の活性化のため国内消費を活性化させるための方策や支援を積極的に行うよう訴えてきました。

雄武町では新たに3つの事業を追加し、ホタテの消費拡大を推し進めていくことが決まりました。雄武町で育まれた海の幸を、みんなでおいしくいただきましょう！

②武雄市・益子町への学校給食食材提供（12月定例会）

予算 538万4千円



佐賀県武雄市・栃木県益子町の児童生徒約6,700人に向けて、雄武町のホタテ玉冷1,500kgを給食食材として提供します。

財源については「多核種除去設備等処理水風評影響対策事業補助金（公益財団法人水産物安定供給推進機構）」を全額充当する予定です。

③飲食店等ホタテ提供事業（12月定例会）

予算 340万円

町内の飲食店や宿泊施設において「雄武町ホタテ緊急支援事業」の一環として、町が提供したホタテを用いた特別メニューで、ホタテの消費拡大を図るキャンペーンを実施しています。対象店舗は宿泊施設・飲食店（スナック含む）・仕出し店など30店舗となっています。

町が購入したホタテ玉冷は1,000kgで、飲食店への提供のほかに、2月中旬に商工会で開催を予定している「食べマルシェ」でもホタテ料理として提供される予定です。

メニューの一例
(ホテル日の出岬)

ほたてフライカレー



1,280円税込み

カレー、そば、フライにパスタ、丼…
それぞれのお店にメニューがたくさん
あるぶち！
いろんなお店で食べてほしいぶち！！

参加店一覧は
こちらの
QRコードから





12月14日（1日間）

- 委員会報告（総務・産業）
- 一般質問（3名）
- 行政報告等
- 議案審議 10件

12月 定例会

行政報告等

行政報告（高橋町長）

12月14日

12月定例会は12月14日の1日間の日程で開催されました。その中から、行政報告とその関連質疑をお知らせします。

◎新年度予算編成

令和6年度予算編成は町長・雄武町観光物産展PR

就任にあたって掲げた「たしかに未来を創る」というま

ちづくりの大きな指針の

と、第6期雄武町総合計画

の政策目標に掲げた施策を

展開していくため、人件費、

公債費、繰出金等を除いた

16億9604万4千円の一

般財源を各課に枠配分した。

◎懸案事項における要望活動

オホーツク圏活性化期成会

・友好自治体等物販PR

▼地方交付税総額の安定的な

確保 ほか34件

高規格道路旭川・紋別自動車

道早期建設促進期成会

▼国土強靱化の事業計画等に

基づく道路の橋梁、トンネ

ル、舗装等の老朽化対策の推

進 ほか3件

◎緊急ホタテ支援事業

・雄武町観光物産展PR

10月26日～27日

札幌市

・ホタテ全戸無料配布会

対象者数 2254世帯

※1世帯当たり

ホタテ玉冷（2S）2kg

・学校給食への食材提供

12月12日「ほたてちや

んこ鍋」にて30kg提供

（残60kgについては1月

以降の給食で提供）

【佐賀県武雄市】

11月18日～19日

【栃木県益子町】

11月18日

【茨城県下妻市】

12月2日～3日

【東京雄武会】

12月2日

行政報告等に関する質疑応答

●小規模企業創業支援助成金●

遠藤 交付件数2件の内訳は。

産業振興課長 ホタテ貝など貝殻製品の製造販売を行う事業所、塗装業の2件。

●ふるさと納税の欠品●

嶋村

ふるさと納税の欠品が目立つ。アクセスする納税者に対して非常に失礼だと思うが、どう考えるか。

財務企画課長

令和5年9月に駆け込み需要があり、12月現在は欠品が目立つ状況。サイト業者からは「欠品を残しておいて”見せる”ことも必要」と聞いている。返品の種類によって掲載を判断し対応していく。

●職員定数割れが続く現状●

嶋村

職員定数174人に対して実数151人、こういった状況が続いている。新町長としてこういった形で充足していく考えか。

町長

どこの自治体も職員採用には苦慮していると聞く。公務員専門学校などへ積極的にロビー活動を行い、職員獲得に努めてまいりたい。

総務課長

3月定例会で定数を159人から15人増やして、現在の174人としている。これは令和5年度からの定年延長及び介護老人保健施設職員の正職員化によるもの。定年延長制度の移行期には令和13年度までは2年に1度しか定年退職者がいなくなるが、そのような年には新規採用者の抑制が危惧される。退職者がいない年でも職員採用が必要と見込んで、この定数としている。また、現在も保育士や保健師などの募集をしているが、なかなか採用にならないことも実数が剥離している要因。

役場庁舎整備計画の今後

公共施設等管理計画で基準パターンと長寿命化パターンがあり、長寿命化パターンなら35年で大改修をして70年で建て替える。大改修はしたか。

町長 大改修の記録を持ち合わせていないが、私の記憶では大改修の記憶はない。

計画を作っても長寿命化すると言って先送りしているだけではないか。

財務企画課長 今年、所管の税財管理課で長寿命化計画を策定中である。

外部委託で立派な計画を作っても計画は計画であり、実行しなければ絵に描いた餅ではないか、反省は。

町長 反省に値するか判断は

分かれるが、総合計画において優先順位を判断し、ローリングで執行している。

遠隔地通院支援事業

町長が代わり、ローリングで事業を行わないことになったが、経緯は。

町長 これまで単独事業で進めてきたが、一旦、一区切りをつけ、国における議論やバス事業者の動向などを注視しながら、10月に設置した地域公共交通活性化協議会での議論等を踏まえた。

福祉給付課長 所管でも試験運行に向け準備をしてきた。一定のニーズがあり、必要性は感じるが、公共交通事業者や沿線自治体への影響と本格運行の実現性などを総合的に判断し、現時点での実施は困難であると判断した。

地域公共交通

ライドシェア(※)についてどのような認識と考えか。

町長 公共交通の確保と担い手不足解決の方策とし選択し得ると理解するが、白タク行為に該当することから原則禁止と認識している。

ダイナミックルーティングを活用し、ライドシェアを行っている自治体の取組みについて認識は。

財務企画課長 AI技術を駆使し、最適なルートで車両を走らせ、利用者を乗降させる仕組みであると認識している。

AIダイナミックルーティングを導入するために町の財源だけでは無理であり、モデル事業に積極的に手を挙げるべきでは。

財務企画課長 今後どのような公共交通手段を構築していくかゼロベースであるが、地域公共交通アドバイザーの先生もおりデジタル技術の積極的な活用など雄武町にとってふさわしい議論が出てくれば検討したい。

地域おこし協力隊等

今後の運用予定と将来展望は。

町長 これまでは、各課の要望を把握して採用し行政連携型で取り組んできたが、移住定住につながる重要な施策であり、先進自治体の情報を収集し、拡充を図っていく。

なぜ、地域防災マネージャーに登録しないのか。

総務課長 防災士を防災担当としていたが、地域防災マネージャーの資格を有する退職自衛官の採用についても効果的であると判断し、今年度、遠軽自衛隊と相談し採用の準備をしている。

(※) ライドシェア

いわゆる「相乗り」サービス。一般のドライバーが自家用車を使い、相乗りを希望する人をアプリなどでつなぎます。法律の関係で報酬は発生しませんが、ガソリン代などの費用は割り勘にすることができます。海外では安価な交通手段として広く浸透しています。

老朽化している現庁舎、大改修していないが考えは

長寿命化計画策定中であり、部分修繕を優先し進める(町長)



やなぎはら ひろゆき 柳原 浩之 議員



喫緊の課題である国保病院問題、町長の基本認識は

きちんと首長が入ってやらなければならない認識（町長）

水産業危機への取り組み

——選挙公約で喫緊の課題として、水産業危機と国保病院問題を挙げていますが、ホタテの緊急対策として予算計上されているが財源として、雄武漁協の寄付金により設立された、漁業振興基金を使わなかった理由は。

町長 私も当初考えましたが、基金の充当は漁業基盤整備という考えでできているということと、ふるさと応援基金で充当しました。

国保病院問題への取り組み

——国保病院問題が喫緊の課題とする基本認識は。

町長 病院に対し、これまで

大きな不安、厳しい視線が注がれているとは、当時、在籍していたものとして想定できなかった。例えば出血しているのに止血していない状態だと思います。これはきちんと首長が入ってやらなければならぬという認識を持っております。

町長 老健との関係性を踏まえ、今後経営強化プラン策定の中で病院としての器についても考える時期かと思っております。経営については院長と事務長が両輪となるのですが、大きいところは設置者かと思えます。

——国保病院の過去10年間の実績をみると、事業繰入の合計が41億6000万、入院収益が平成25年度

1億4500万から令和4年度7700万（53%減）、外来収益が1億7700万から1億600万（59%減）と大幅な減収となっている。この間の町の人口減少率は17%なので相当な落ち込みですが、この間、町として根本的な取り組みの姿勢が見られないが。

——桂巻院長は来年3月で定年ですが、その後の処置は。

町長 桂巻院長は定年退職となります。透析等の対応などで非常勤扱いで雇用することもあると考えています。

一次産業の振興策

——産業担い手対策として、従来、行政支援型の地域おこし協力隊を募集しているが、府県で取り組んでいる就業支

援型で生産現場に派遣できる募集を考える時期では。

町長 地域おこし協力隊の積極的活用については、しっかりと勉強し、事業拡大や新事業への挑戦を希望している民間事業者には派遣する企業研修型も積極的、戦略的にやらなければならぬと考えています。

町長の所信表明

——11月臨時議会での所信表明で、第6期総合計画の後期実施計画について、再評価をすると述べています。

後期実施計画での財政計

画で国保病院への繰入額は3億5000万ですが、本定例会での国保病院会計の補正により4億3800万で、単年度で8800万の超過となっている。町長の考える再評価の必要性は。

町長 事業実施計画については、事業ごとの棚卸と仕訳を行い、財政計画でしっかり担保させたい。そのうえ全体を俯瞰し、事業の優先度の精査、事業の改廃の検討、遊休資産の売却など、歳入の検討もしていきたい。



しまむら よしふみ
嶋村 義文 議員



人口減に対する取り組み

町長の所信表明で人口減少の抑制に取り組んでいくとおっしゃっていましたが、具体的にどういった取り組みをお考えか。

町長 担い手対策として地域おこし協力隊の積極的活用、外国人の技能実習生の確保などをしっかりと進めていきたい。

雄武町は子育て支援や妊娠支援などかなり積極的にやっているが、今の雄武町で出産したいと思う女性がどれだけいるのかという疑問がある。雄武町内には産科が無く遠方の病院まで行かなければいけない。子育て支援は絶対に

必要だが、これが少子化対策や人口増に繋がると思えない。

新たな人口減対策として同性パートナーシップ制度の導入を提案する。2023年時点で導入自治体は328自治体、北海道185市町村の中では7市9町村が導入している。2016年には大阪市が同性カップルを養育里親に認定し、親のいない子供を同性カップルが養子として引き取った。

新しい概念を取り入れることによって地域が活性化され、人口増につながる。カップルで移住し、養子縁組すれば人口が3人増える。

総務課長 現在、雄武町においてはパートナーシップ制度

の導入について検討段階にも至っていないというのが現状。その他の自治体の動向も注視し導入の是非につきましては慎重に進めていく。

町のソーシャルネットワーク活用

過去2度、一般質問で遠藤議員から町の公式LINEアカウント開設について提案されています。その後の進捗状況はいかがですか。同じような質問が3回目になる。いつ頃の導入になるのか。

総務課長 町としても取り組むべき課題であると捉えているところ。時期までは明言

できないが、なるべく早い時期に導入できるように進めていきたい。LINEの導入に当たってソフトバンクの方が職員に対する説明会を開いてくださるなどの支援がある。そういった大手の会社も利用し、調査研究を早めに進めていく。

山奥にある集落はサイレントももちろん聞かない。今年の停電も、自宅だけ停電しているのか、町全体が停電しているのか分からない。情報が全く行き届いていないんです。

やはり利用率が高いLINEを導入すべき。LINEの

活用次第で熊目撃情報も通報しやすくなる。簡単に通報ができれば、そこから罾を仕掛けやすくなり熊駆除対策につながる。

江別市は2021年に公式LINE導入時、ITに長けた人材が不足しているということで、当時内閣府の地域情報アドバイザーをされていた方に協力を仰いだそうです。こちら派遣は無料だそうですので、そういった方にも協力を仰いではいかがか。(提言)

新たな人口減対策、同性パートナーシップ導入を

導入については検討段階にも至っていないのが現状(総務課長)



たなか くみ 議員
田中 久実



◆順天堂大学とのパイプ

柳原

前町長には順天堂大学とのパイプがあり、それに経費を投資してきた。今後はお付き合いしないのか。

町長

大学関係のことについては特に前町長からはっきり引継ぎも受けていない。事務方からは経緯を聞いている限りであって、特に大学と何か私がチャンネルを持つてる訳ではない。

◆小学校・中学校への空調設備（エアコン）設置

遠藤

小・中学校の空調設備の設置箇所と台数は。

福祉給付課長

雄武小学校は17教室に28台。沢木小学校は8教室に9台。雄武中学校は11教室に20台。合計で36教室に57台。



◆町長交際費の増額の理由

柳原

町長交際費は当初予算で140万円計上されている。今回120万円が補正増となった理由は。

総務課長

日常生活がコロナ禍前の状態に戻り、町長が対応する各種セミナーや講演会が通常開催され数が増えた。医師確保に当たり町長自らが面談や関係機関への働きかけを行っていることの関係経費の増もある。その他、益子町や武雄市との交流に関する食材費の値上がりや新たな交流を開始した下妻市に関する経費などによる増額。

◆下妻市との交流会

柳原

友好都市の提携を結んでいない下妻市との交流に経費をかける意味は。

産業振興課長

特産品開発に特化した事業所、自治体とうまく連携しながら町の利益に繋げて行くという考えから下妻市との交流を考えている。

◆消火器の購入

今泉

小学校、中学校、町民センター、スポーツセンター、地域交流センター、児童センター、庁舎、除雪センター、約100万円分の消火器購入、有効期限の決まっている物を当初予算ではなく補正予算で購入する理由は。

税財管理課長

各施設に通知は行っていますし、当初予算で消火器購入分を組んでいるところもありますが、リサイクル料、運搬費、引取り料が入ってなかったということで、見積を取り直した結果、費用が増え、その分補正となりました。



◆役場庁舎別館の空調設備（エアコン）設置

遠藤

役場庁舎別館の空調設備の設置箇所と台数は。

税財管理係長

1階の事務室、大会議室、介護展示室、2階中会議室と小会議室、別館1階の相談室、1階の廊下などに取り付ける。合計17台。室内機が17台、対応する室外機が10台。

◆チヨダ地域保健推進賞

チヨダ地域保健推進賞助成金（20万円）についての質疑を行いました。

関連記事は次ページ（10ページ）をご覧ください。



一般会計補正予算（第8号）【主な内容】

・町長交際費	120万円
・役場庁舎別館空調設備新設工事（繰越明許分）	4008万円
・小学校空調設備整備工事（繰越明許分）	9440万円
・中学校空調設備整備工事（繰越明許分）	5050万円
・備品購入費（消火器分のみ・各課の合計額）	102万6千円

町の取り組み、

聞いてみました!! ✨

健康推進課「チヨダ地域保健推進賞」

雄武町では近年、特定健診の受診率が他の地域に比べて低い状態が続いており、受診率を向上させ、多くの方に健康管理として健診を利用いただくよう、健康推進課では様々な取り組みを行なっています。

特定健診の受診率向上のための取り組みが千代田健康開発事業団のコンクールで評価され、事業に対し20万円の奨励金をいただきました。

どんな取り組みを行なっているの？

住民が健康で生きがいや楽しみを持って生活できる地域を目指し、雄武町では特定健診・がん検診の受診をお勧めしています。受診は健康維持や病気の早期治療につながります。

地域住民と共に取り組む健康づくりとして、住民同士で健康について考えて関心を持って取り組んでもらうための工夫を行ってきました。町内の飲食店、美容室、ガソリンスタンド、郵便局などにポスターを掲示しています。皆様の受診をお待ちしております。

雄武町の 特定健診受診率

令和4年度
→ 24.1%

同規模町村の平均値
→ 47.4%



Q これまで受診してこなかったが、集団健診ではなく個人で好きな時に受診できるのか？

A 個別健診もあります。受診後の健診結果表を見てどうだったかも含めて、ぜひ議員の皆さんにも健診・がん検診を受診し、体験し改善点などのフィードバックをいただきたいです。

Q 個別健診と集団健診の比率は？

A 6対4くらいです。

おうむすこやか健診

集団健診の申し込みはインターネットまたは電話で予約できます。若い方も利用しやすい、インターネットでの申し込みは24時間受付可能！個別健診も各医療機関で随時受付できます。各医療機関へ直接お問い合わせください。

年の初めには健康診断。
健康管理を習慣に
しませんか？



北海道における小中学校への冷房設備の 設置に対する財政措置を求める要望意見書

近年、地球温暖化等の影響により、全国的に夏の暑さが非常に厳しくなっており、北海道においても今までに体験したことのない日が続く状況です。子どもたちが学習する普通教室では30度の暑さに達することもあり、学習意欲や集中力が低下するだけでなく、児童・生徒・教職員の健康面にも多大な影響を及ぼしています。

このような中、児童・生徒の学習環境の整備や健康面の対策として、本町では来年夏までに町内全小中学校に空調設備を配備する計画を進める状況ですが、北海道全体を考えた場合、地方自治体によっては財政状況を鑑みると冷房設備の設置について躊躇せざるを得ない状況も見込まれます。北海道の小中学校の普通教室の冷房設備の普及率は16.5%と、全国の95.7%から大きく離れており、気候の急激な変動を想定すると北海道全体への早期普及が望まれます。

学校保健安全法に基づく文部科学省告示の学校環境衛生基準には、教室内の気温は18度以上、28度以下であることが望ましいとされており、この基準に照らせば、特に義務教育の過程において、教育環境に格差が生じることはあってはならず、教育環境の改善は喫緊の課題であり、早急な対応が求められます。

よって、国におかれましては、北海道における小中学校への冷房設備の導入が着実に進められるよう、学校施設環境改善交付金の予算規模の大幅な増額等、財政措置を講じるよう、強く要望いたします。

提出者 雄武町議会議員 遠藤 友宇子
賛成者 // 高橋 誠

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣



道内視察レポート（委員会報告・抜粋）

令和5年10月31日（火）～11月2日（木）

総務文教常任委員会

出席委員

遠藤委員長、高橋副委員長、嶋村委員、金田委員、今泉委員

同行者

山崎議会事務局局長、武藤国保病院事務次長、内宮書記

【公立芽室病院】

研谷院長、岡山総看護師長、佐藤診療技術科長、西科事務長らの5名から公立芽室病院の改革の取組みについて説明をいただいた。

「できることから始めよう」をスローガンに改革を進めてきた。

芽室町は人口18000人弱で、513・76km²の面積がある。公立芽室病院は、現在7

科の診療を行っており、3階はコロナ病棟となっている。病床数120床のうち107床が稼働している。公立芽室病院は、

全員参加型でボトムアップ型の経営を目指しており、経営理念を大切にしていくなかで、経営にしたいという想いから基本方針の唱和を行っている。また、町民の高齢化を迎えるにあたり、リハビリマネジメントを病院全体で強化している。具

体例としては、山形県の公立高畠病院を参考に株式会社メディックプランニングの三好氏を招いて定期的な研修を行っているのと併せて、島根県の公立邑智病院のアメリカバ経営に倣って、昨年9月からアメリカバ経営も導入している。

視察所感

公立芽室病院が行ってきたように、院長、看護師長、事務長がチームとして先進地視

察に行き、病院の医療ニーズを正確に把握した上で、人気のクリニックとどのような点で異なるかを分析している。その上で町民ニーズに応じた課題に優先順位をつけて着実に実行していくことが重要だと感じた。また、芽室町を参考に町民や法人により雄武町国保病院を外部から支える会の立ち上げを議会として働きかけていくことも必要である

と考える。

【新得町】

富村牛小中学校

富村牛小中学校は、昭和24年9月に岩松小学校ニペソツ分校から分離独立し、同年10月に小中併置校として開校され、現在の校舎は平成21年2月に完成している。

富村牛地区は、大雪山国立公園の中で50世帯84名が主に畜産を生業に暮らしており、地域で子どもを育てる風土がある。

令和3年度まで十勝管内唯一の併置校として、令和4年度から義務教育学校として大雪山国立公園内にある学校で

視察所感

富村牛小中学校から令和4年度に義務教育学校に移行され、元々の状況とは差異はないが、義務教育学校にしたことで「9年間」という意識が強くなったとのことである。

雄武町では、各学校の老朽化が進んでおり、3校ある小学校も来年3月末で共栄小学校が廃校となり、雄武町内の小学校が2校となる。

学校のあり方について、地域、教育委員会を含めた町行政及び町議会の連携により検討すべき時期に来ていると考える。



産業厚生常任委員会

出席委員

柳原委員長、田中副委員長、嶋村委員、溝田委員、安本委員

同行者

山崎議会事務局長、福田産業振興課長補佐（足寄町のみ）、内宮書記

【足寄町】

平成16年に「放牧酪農推進のまち宣言」をした足寄町を視察し、経済課農業振興室長から放牧酪農の始まりや取り組み、現在の状況等の説明を受けた。足寄町は、人口約6500人、基幹産業は農林業が中心であり、酪農・畜産では人口より多い約2万頭の家畜が飼育されており広大な草地を活かした「放牧酪農」など足寄町ならではの経営を行っている。

足寄町の酪農家は78戸あり、そのうち約半数近くが放

牧酪農を取り入れ、2001年からこれまで23組の新規就農が実現し、うち20組が放牧酪農で経営を行っている。

視察所感

雄武町でも新規就農支援制度をホームページにアップしており、200万円を限度とした奨励金交付や機械、乳牛に関する賃借料や固定資産税、借入金の一部を奨励金や補助金の一部として交付する制度があるが、これまでに就農された方は1世帯のみである。新規就農者（個人経営・共同経営）



の条件緩和や支援の要領、住環境の整備等を整え、移住促進につながるような制度を更にする時期に考えていると考える。雄武町酪農・肉用牛生産近代化計画が令和7年度までの10年間計画であるが、その後の計画作成において酪農経営の持続的発展のために中長期的な人材育成と円滑な経営継承について検討が必要である。

【美幌町】

令和3年2月竣工、同年5月供用開始された美幌町役場を訪問し、総務課長より新庁舎の概要やメインコンセプトについて説明を受け、その後、庁舎内を視察した。

「安心」「親しみ」「便利」等を考え将来の人口減少や組織変更にも対応できる工夫をされるとともに、保健福祉センターとの動線確保なども考慮された建物は、環境配慮型庁舎「ZEB Ready 庁舎」として大幅な省エネルギーを実現した上で再生可能エネルギーを導入し、エネルギーの需要と供給の年間収支が概ねゼロ若しくはプラスになるとの試算であったが、運用時のエネルギー消費は基準値の73%削減となり設計値以上の省エネ効果が確認されていた。

視察所感

本町は役場庁舎建設については耐震化を施している関係で総合計画にも記載されていないが、築50年以上の建物であり将来の計画作成に大いに参考になる研修であった。特に、将来の人口規模を見据えムダを省き建設するため、しっかりと計画を立てて5年間で10億円の基金を積み立てていたことや、ファイリング等を行い書類を減らしておくなど準備の重要性を痛感した。

また、タイミング的に人件費や資材が高騰する前に建設できたことや環境省の補助金を受けた等の話も伺ったが、突発的な事態に対応するためにも長期計画や将来ビジョンが大事であると併せて痛感した。

道内視察動画（再生リスト）はこちらから！



新庁舎は全ての人が利用しやすいユニバーサルデザインであるとともに防災拠点としても活用でき、また、誰もがわかりやすい窓口機能を有し、職員の働きやすい執務空間と相まって住民の方々へのサービスが向上されている。本町は、今後どのように新庁舎を考えていくことになるかは不透明であるが、次世代にしっかりとした体制で引き継ぐために、美幌町や他市町村の参考になる建物を視察し、庁舎建設を検討すべき時期であると考えます。

その他の採決結果 (一部抜粋) ※ 賛否が分かれた議論はありませんでした。

11 月 臨 時	<p>雄武町職員の給与に関する条例及び雄武町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正</p> <p>雄武町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正</p> <p>雄武町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正</p> <p>給与の引上げについて人事院勧告に準拠するもの。</p>	可決 (異議なし)
12 月 定 例	<p>令和5年度雄武町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)</p> <p>北海道国保連合会負担金の増、介護予防住宅改修費の増。(+64万1千円)</p>	可決 (異議なし)
	<p>令和5年度雄武町国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号)</p> <p>医療機器保守点検料の増など(+121万5千円)、一般会計からの運営補助金。(+4億3800万円)</p>	可決 (異議なし)
	<p>雄武町地域公共交通活性化協議会条例の一部改正</p> <p>雄武町地域公共交通活性化協議会において、社会福祉法人等による自家用有償旅客運送の実施に係る協議を可能とするため。</p>	可決 (異議なし)
	<p>雄武町国民健康保険税条例の一部改正</p> <p>国民健康保険法施行令の一部を改正する政令等が交付されたことに伴うもの。</p>	可決 (異議なし)
	<p>公の施設に係る指定管理者の指定(雄武町立特別養護老人ホーム雄愛園・雄武町在宅老人デイ・サービスセンター)</p> <p>各施設の管理運営を町が指定する団体(社会福祉法人雄武町社会福祉協議会)に行わせようとするもの。</p>	可決 (異議なし)
	<p>オホーツク町村公平委員会規約の変更</p> <p>オホーツク町村公平委員会の共同設置地方公共団体長を変更するため。</p>	可決 (異議なし)
	<p>令和5年度雄武町一般会計補正予算(第9号)</p> <p>住民税非課税世帯等臨時給付金(追加分)の増、物価高騰対策事業補助金の増など。(+6829万円)</p>	可決 (異議なし)
<p>北海道における小中学校への冷房設備の設置に対する財政措置を求める要望意見書(提出:遠藤議員 賛成:高橋議員)</p>	可決 (異議なし)	

議員補欠選挙と委員会構成変更

7月31日付けで佐藤寧議員が辞職されたことに伴い、9月24日に雄武町議会議員補欠選挙が行われ、安本明志美氏が無投票当選されました。これに併い議会の委員会構成が変更となりましたのでお知らせします。

【議席番号1番】 **安本明志美**
やすもととしみ



● **委員会構成** ※太字が変更委員

- ・ 総務文教常任委員会
- ・ **遠藤委員長**、高橋副委員長、嶋村委員、金田委員、今泉委員
- ・ 産業厚生常任委員会
- ・ 柳原委員長、**田中副委員長**、嶋村委員、**溝田委員**、**安本委員**
- (嶋村委員は各常任委員会に重複所属)
- ・ 議会運営委員会
- ・ 溝田委員長、**柳原副委員長**、嶋村委員、**遠藤委員**
- ・ 議会広報特別委員会
- ・ 遠藤委員長、田中副委員長、**高橋委員**、**今泉委員**

議 会 日 誌

9月

5～8日	第4回定例会開催
12日	第10回広報特別委員会開催
21日	第11回広報特別委員会開催
27日	第12回広報特別委員会開催

10月

1日	第12選挙区支部政経セミナー（北見市）出席、議長
//	森山自民党総務会長への要望会（北見市）出席、議長
4日	第13回広報特別委員会開催
5日	議会議員協議会開催
14日	第14回広報特別委員会開催
15日	みどりと親しむ町民のつどい出席、議長
//	令和5年度自民党移動政調会（北見市）出席、議長
16日	第15回広報特別委員会開催
17～18日	道東4地区町村議会議長会（中標津町）出席、議長
20日	産業厚生常任委員会開催
21日	第30回雄武中学校祭出席、副議長
23日	第16回広報特別委員会開催
25～28日	オホーツク町村議会議長会議長府県行政委託調査（徳島県・兵庫県）出席、議長
27日	総務文教常任委員会開催
28日	雄武小学校学芸会出席、副議長
29～31日	高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会要望（東京都）出席、議長
31日～11月2日	常任委員会合同道内視察研修（足寄町、芽室町、新得町、美幌町）

11月

2～3日	オホーツク圏活性化期成会秋季要望（札幌市）出席、議長
3日	雄武町栄典表彰式出席、議長ほか9名
5日	管内選出北海道議会議員への要望及び意見交換会（北見市）出席、議長
6日	議会全員協議会開催
11日	共栄小学校学芸会出席、議長
12日	沢木小学校学芸会出席、議長ほか1名
14日	総務文教常任委員会開催
15日	令和5年度遠紋地区市町村議会議員研修会（滝上町）出席、議長ほか7名
20日	雄武漁業協同組合との意見交換会出席、副議長
23日	雄武神社勤労感謝祭出席、議長ほか1名
25日	遠軽自衛隊第23回定期演奏会（西興部村）出席、議長
27日	議会運営委員会開催
//	第6回臨時会開催
29日	産業厚生常任委員会（社協との意見交換会）
28～30日	第67回町村議会議長全国大会（東京都）出席、議長

12月

1～3日	東京・雄武会（東京都）出席、議長
6日	議会議員協議会開催
7日	議会全員協議会開催
10日	ALPS処理水関連の水産業支援等に係る説明会（北見市）出席、議長

編集あとがき

はじめに、このたびの能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

昨年は町長交代と新人議員4名という議会構成。新風に期待される中で『議員の職責とは何か』を色々な方々からご意見を頂き思慮を巡らし新年を迎えました。今時点で思うのは、『質問や質疑・提案等の議員の一言一句は、住民の意見であり一個人の意見であってはならない。』という事です。議員活動としては、町議会と住民との意見交換会を予定しており、こういった活動が『やっける感』で終わらず、しっかりと行政運営への反映につなげていかなければならないという事です。少々凝り固まった内容になりましたが、聞く耳を持ってまい進して参ります。議会へのご理解よろしくお願います。

議会広報特別委員会

委員 高橋 誠

←次は 動画紹介(武雄・益子)

友好都市を訪問し交流しました



武雄市は、佐賀県南西部にある1200年以上の歴史を誇る温泉のまちです。雄武町とは同じ漢字を使っている縁で昭和61年6月16日より交流が始まりました。平成3年度からは毎年夏休みに雄武町の小学生が武雄市を訪問しています。また、平成5年度からは武雄市の子供たちが冬に雄武町を訪問。ホームステイなどで一層の交流を深めています。

OUMU



TAKEO



動画（再生リスト）

雄武町出身者が取り持つ縁で、30年ほど前から交流を続けているのが、益子焼で有名な栃木県益子町です。当初は陶芸中心の交流でしたが、近年は両町のイベント開催時の交流や児童交流など、陶芸の枠を超えて、その絆を強めています。



栃木県

益子町

MASHIKO



議会と町民の方々の**意見交換会**を4月に行います。

アンケートが間もなくご自宅に届きます。

ご協力よろしく申し上げます。



※※※ 返信は **2月26日** までに!! ※※※